

平成26年度 ステージⅠ(基本的力量形成期)自己マネジメント研修レポート

6月27日(金)栃木県学校生協協同組合会館にて、平成26年度ステージⅠ(基本的力量形成期)自己マネジメント研修を開催しました。採用1～3年目を対象に、「研修の体系化」に基づくステージ別研修として、今年度は18名の方が参加しました。

はじめに、岡崎会長から栃事研の活動・研修の体系化についての説明がありました。ステージⅠの事務職員に身につけて欲しい能力として、日々学校を取り巻く状況が変わっていく中で事務職員として

「社会性を身につけること」、

「コミュニケーション能力を身につけること」、

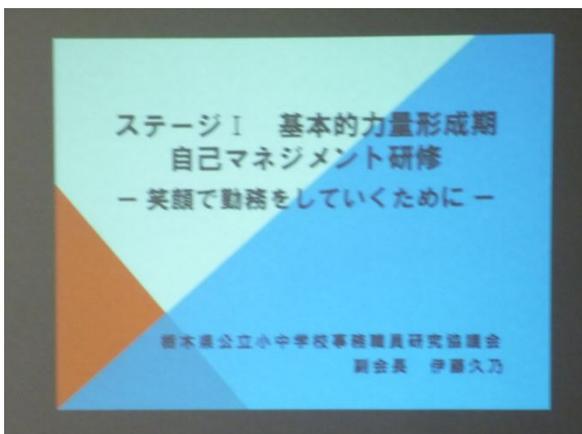
「学校組織の一員として仕事すること」などが示され、是非、積極的に学校経営に携わって欲しいとの話がありました。



続いて、「自己マネジメントについて」の講義を伊藤副会長が行いました。

学校におけるマネジメントは、資源である「ヒト」「モノ」「カネ」「情報」を有効に活用し、組織の目標(学校教育目標)を達成していく活動である、などマネジメントの概要説明がありました。そして、自己マネジメントの手法を実践に結びつける際のポイントとして、「適切な時間管理」「自分の心と身体へのマネジメント」「コミュニケーション能力」が挙げられました。会長の話の中にもありましたが、やはり「コミュニケーション能力」は、仕事をする上でとても重要な能力の1つであるといえるようです。

おわりに、これからの学校事務を担う皆さんに、「明るく素敵な事務職員になってください。」と願いが込められたお話がありました。



次にグループ演習を行いました。最初に自己紹介を兼ねて事前課題として持参したActionシート①をもとに、各々が目指している事務職員像を発表しました。その後、現在抱えている課題や悩みを付箋に書き出し発表しました。また、経験2年目の事務職員の方に各グループに参加していただき、1年目のときに大変だったことや悩んだ

こと、それについての解決方法などを話していただきました。話を聞くことで、先輩も同じような悩みをかかえていたということなどが分かりました。その後の話し合いでは、1人で抱えていた悩みを共有するなど、積極的な意見交換が行われました。



休憩をはさみ「先輩の話」として採用8年目の山ノ上主事から、自身の1～3年目当時の悩みや課題をどのように解決してきたかについて、体験談を交えてお話いただきました。

体験談の内容について共感できることが多く、聞いている方もうなづく場面がよく見られました。「今は分からないことが当然なので、どんどん先輩の事務職員さんに質問する」「記録を残しておくことで次年度スムーズに事務処理を進めることができる」「問答集・例規集を活用する」等、体験談からもたくさんのアドバイスをいただきました。

その後、再度グループ演習で、各自課題解決への方策を考え、それについて話し合いを行いました。解決のための手立てが見つかることができた、有意義な研修となりました。



最後に Action シート②に、各自、研修の振り返りと課題解決のためにチャレンジしたいことについて考え、今後の目標をたてました。グループ内で話し合った後、各班の代表者が決意表明をしました。

参加者の Action シート①の一例として、「先生方に聞かれたときになんでも答えられるような事務職員になりたい」というのが目指す事務職員像ですが、「知識や経験が浅いため効率的に事務処理を進めることができない」という課題があげられていました。しかし、今回の研修会で「経験豊富な事務長に質問する」や「簡易なことでも記録を取っておく」などの解決策を見つけることができたようです。

参加者の方には約5ヶ月後、今回設定した目標を達成するために、どのような実践を行ったのかを Action シート③に記入し提出していただきます。参加者のこれからの取り組みに期待しています。

【柘事研研修部】